

油体: 1細胞につき4-8個, 細胞内に充満, 円形で径3.8-5.8 $\mu$ , または長だ円形で11.5 $\times$ 3.8 $\mu$ , 内部は微粒で充たされる。

本種の油体は既に服部博士 1953 も記載されているが, 私の見た材料ではかなりかけ離れたものもあるので, こゝには屋久島産のものを参考のため掲げた。

18. *Solenostoma triste* (Nees) K. Muell.

19. *Solenostoma yakusimense* (Hatt.) Amakawa, comb. nov., (Fig. 9, H)

*Plectocolea yakusimensis* Hatt. in Journ. Hattori Bot. Lab. 3: 15 (1950)

Specim. Exam. Isl. Yakushima: Kosugidani, 750m alt., T. A. 2132.

油体: 1細胞につき(1)-2-3-(6)個, 円形(5.8)-7.6-8.7 $\mu$ , またはだ円形8.7-14.6-(20) $\times$ 5.8-8.7 $\mu$ , grape-cluster type.

本種は最初 *Plectocolea* 属の屋久島特産種として記載された。その後本州から四国, 九州にかけて点々と発見されている。私は新鮮な標本について研究した結果, 本種の花被頂部は急に狭窄して明かな嘴部を形成しているので, 本種を *Solenostoma* 属に移すことにした。本種は北周極要素である *S. crenulatum* に近いが, 油体は本属に特異なぶどう房型であつて明かに区別される。なお日本にも *S. crenulatum* の記録はあるが, 私はまだ確認していない。

# ○白花イヌフグリ (檜山庫三) Kôzô HIYAMA: A form of *Veronica caninotesticulata* Makino

上州館林でイヌフグリの白花品が見つけ出された。1957年, 松沢篤郎氏の採集するところである。イヌフグリの花は一般に淡紫赤色であるが, この白花品は, 松沢氏によれば, 白地に紫条があつたとのことである。これをシロバナイヌフグリと新称する。

*Veronica caninotesticulata* Makino

forma **albiflora** Hiayama, nov. f.

Corolla alba purpureo-striata.

Hab. Hondo: Tatebayashi, Prov. Kodzuke (leg. T. Matsuzawa—anno 1957—  
typus in herb. Nation. Sci. Mus. Tokyo).